

令和 4 年 3 月 1 6 日
 予算決算委員会所管事務調査
 総 務 部 税 務 課

(2) 令和 3 年度税収の見込みについて

税収の基礎となる課税状況等については、次のとおりです。

1 主な市税の課税状況等

(千円)

	R3 予算現額	R3 決算見込額	差額 (決算-予算)	R2 決算額	決算額差額 (R3-R2)
個人市民税	4,816,842	5,023,534	206,692	5,067,230	△ 43,696
法人市民税	297,621	436,917	139,296	500,643	△ 63,726
固定資産税	4,916,044	4,851,436	△ 64,608	4,962,104	△ 110,668
都市計画税	833,709	819,692	△ 14,017	828,589	△ 8,897
軽自動車税	81,523	88,244	6,721	82,090	6,154
たばこ税	264,733	289,078	24,345	279,949	9,129
合計	11,210,472	11,508,901	298,429	11,720,605	△ 211,704

2 昨年度決算額と比較した主な増減要因

- (1) 個人市民税…新型コロナの影響を、特別徴収で△3.9%（平均賃金前年比）、普通徴収で△20.3%（リーマンショック時下落率）見込んでいたが、それほどの影響は見られなかった。
- (2) 法人市民税…新型コロナの影響を、法人税割で△32.5%（リーマンショック時下落率）見込んでいたが、それほどの影響は見られなかった。
- (3) 固定資産税…土地は、前熊一ノ井の民間開発等による宅地の増加により増額し、償却資産は、申告者の増加や税務調査による適切な申告案内により増額したものの、中小事業者等へのコロナ減免措置を 10,556 千円と想定していたが、実際は 74,361 千円だったため、全体として減額となった。

参考／新型コロナの影響：約 350,000 千円（当初見込 610,000 千円）